

切実な市民要求の実現へ一般質問

8日の一般質問は、細野龍子議員、佐々木智子議員、池川友一議員の3人が質問をおこない、切実な市民要求をとりあげました。その要旨を紹介します。

認可保育園の増設で待機児ゼロを求めて 「年内に1000人規模の新築型4園を公募」



細野龍子市議は、657人に増えた保育園待機児童

を解消するため、町田市の「待機児解消3カ年計画」の1180人という保育所受け入れの目標数値を達成することを求めました。子ども生活部長が、09年、10年合わせて661人を達成する予定。残り5

19人については、1000人規模の新築型認可保育所4園の建設と、分園型や保育園の増改築で待機児童を解消する計画を明らかにしました。認可保育園に入れない子どもを預かる無認可保育室への補助金も強く求めました。

すずかけ台駅前 マンションの 安全確認を求めて

次に、町田市が建築確認を行った南つくし野のマンションの安全確認を求める住民の願いに応えるように求めました。建築基準に適合した安全な建物であることを確認できるよう、第三者によって調査を行わせるよう求めましたが、事業者と当事者で解決すべきと開発担当部長が答えました。

市民サービスに受益者負担はやめよ



佐々木智子市議は、市がまとめた「受益者負担の適

正化に関する基本方針」について、策定に至る経緯と考え方を質問しました。財務部長は、行政サービスを「負担の公平」と「負担の均衡」の2原則で見直し、基礎的サービス以外は民間の類似サービス

がある場合は50%、個人の嗜好で選択するサービスは100%の負担割合を設定すると答弁。石阪市長は「利用負担の公平をはかることは地方自治体の役目だ」と強弁しました。



利用しやすい 木曽山崎センターに

また、木曽山崎センターの

支所機能拡充と使用料の値下げを求めた問いには、市民部長が「夜間の和室などの利用状況を調査・分析して対応を検討していきたい」と答弁。特別支援学級の生徒が進学を希望する都立まちなだの丘学園（旧町田養護学校）の過密化については教育長が改善を「都に要望している」と答えました。

保険証を取り上げる資格証発行はやめよ



池川友一市議が「保険証をとりあげられ、医者に行

けない市民がいる」と国保の資格証明書発行中止を求めた質問に対して、石阪市長は「職員が仕事をよくやっている」と資格証が多いことを評価し、市民の切実な願いに背を向ける答弁をしました。国保法44条に基づく、病院

の窓口での医療費の負担減免の制度活用を求めた質問には、昨年度0件だったこともあり、この制度を「市民や医療機関に周知」することを約束しました。また、後期高齢者医療制度に代わる、「国保広域化」や国保財政について質問をおこないました。

学生就職難をはじめ、高校中退者、中学卒業後進路未定者、ひきこもりなどへの就労支援をはじめとする対策を求めた質問には、「雇用は国の仕事」の一点張り。

市民病院への直行バス 路線バスの拡充を

鶴川地域から市民病院への直行バス、市民プールから半沢通りを通って鶴川に向かうバスルートの実現について求めた質問には、「バス会社には要望をしている。引き続き求めていく」と答えました。

12月9日(木)
一般質問



お誘い合わせて、傍聴にお越しください

とのむら健一（7番目）

- 公共施設の総合管理等の業務委託について問う
- ホームレス対策について問う
- 高ヶ坂地域を通るコミュニティバスの早期運行について問う

